



大阪早稲田倶楽部 NEWS

新企画講演会

各界のトップに学ぶ



若手世代と談笑する岡野氏



講師 岡野雅夫氏

倶楽部に新企画が誕生した。ビジネス界を中心に活躍されているトップの方を招き、勉強しようとの企画。

初回は9月26日、サッカーJリーグのセレッソ大阪の運営会社である大阪サッカークラブ株式会社(昭53年)の岡野雅夫社長(昭53年商)。関西文化サロンの「Jリーグビジネス最前線」のテーマで講演いただき、45人が参加した。講演のあと岡野社長を囲みでの懇親会もあり、充実した催しとなった。懇親会は実費だが、聴講は無料。今後、年2回程度、開催する予定だ。今回は若手も多く参加し、盛り上がった。

若手を代表して阪口純さん(平24年スポ科)に聴講記を寄稿いただいた。

回の講演は、セレッソ大阪の現況や調査分析の結果に加え、Jリーグの課題と展望まで多岐にわたる内容であった。

柿谷やフォルランをご存知の方も多いのではないだろうか。マスメディアでも露出の多いセレッソ大阪の選手たちである。調査によると、この両選手はそれぞれ異なる層のファンを増加させている。柿谷は20〜40代の女性ファン、フォルランは10代と40代の男性ファンである。

柿谷は、彼を中心とした若い選手たちが、ツイッターで親しみやすい側面を見せたり、丁寧なファンサービスを行うことによって、新規ファンを獲得している。

一方、フォルランは、世界の有名選手を生で見たいという気持ちを持ち強く喚起し、活躍の期待感からサッカー関心層のファンを獲得している。そして、柿谷を育成し、フォルランを獲得したのは、岡野社長をはじめとするセレッソ大阪である。

選手の育成や獲得には多額の費用がかかる。Jリーグへの関

心が低下する中で、どのように選手を育て、どのような選手を獲るか、経営の手腕が試される部分であろう。選手育成の仕組みづくりや戦略的な選手獲得、他にも分析に基づく様々な意思決定を下している。現在セレッソ大阪は、プロサッカークラブにおける一つの成功モデルを築きつつある。その結果が、今季の観客数を飛躍的に増加させた「セレッソ現象」である。

セレッソ現象の分析で印象的だったのは、ファンサービスである。セレッソファンアンケートによると、ファンとなるきっかけ、観戦するきっかけ、印象に残っていることすべての項目において、要因として挙がっている。さらに、ファン歴が短い者ほど重視する傾向にあり、新規ファンを獲得するためには、極めて重要である事がわかる。

私は今までセレッソ大阪の試合を観戦することがない。しかし、スタジアムに足を運びたいと考えるようになった。その理由は、岡野社長のファンサービスに他ならない。私も含め、質問者に対して、理解を助ける補足を加え、時にはユーモアを交えて丁寧な回答する姿に感銘を受けた。舞台裏の仕事に思いを馳せつつ、観戦したいと思う。

第46回食へ歩き会

当麻の里で山形牛を食す



46回目の食へ歩き会
は9月20日、近鉄当麻
寺駅に23名の老若男女
が参集しました。目指
すは、当麻寺までの20
分のウォーキングと小
川亭での山形牛のスキ
焼です。

日本を代表する名刺
である当麻寺までの道
すがり、北原先輩による
歴史ガイドダンスには感
心する事しきりです。
野見宿禰のライバルに
して相撲の祖とされる
当麻蹴速の墓と伝わる
蹴速塚の説明あり、中
将姫の当麻曼茶羅で名
高い当麻寺の国宝の数
々、創建縁起等等、小
生にとりましては恥ず
かしながら見るのも聞
くのも初めてであり、
大いに勉強になりました。

さて頭と体を使い空
腹を感じたところで、
眼前に小川亭の看板が
見えて参りました。
尚、食へ放題ではな
かったのですが、見る

も鮮やかな山形牛のス
キ焼に舌鼓を打ち、食
す程に、飲む程に、人
の輪が広がり愉快な2
時間を過ごさせていた
だきました。

小川亭を後にした一
行は、揚野先輩の知人
である当麻寺宗胤院宮
下住職夫妻に茶菓のも
てなしを受け、手入れ
の行き届いた見事な庭
園を鑑賞させていただ
きました。

ここで一同解散とな
り、三々五々帰路につ
きました。小生の様な単
身赴任者にとりまして
は、食へ歩き会は良き
思い出作りとなります。
今後も可能な限り参加
したいと思えます。最
後に、幹事の皆様、参
加者の皆様、ご苦労様で
した。

西村寛之(昭53年商)



新年会のぐゝ案内

倶楽部と校友会大阪府支部共催の新年会を来年(平成27年)1月17日(土)午後3時30分より、シエラトン都ホテル大阪(近鉄上本町駅、地下鉄谷町9丁目駅下車)で開催します。

恒例の新年会ですが、今回はソプラノ歌手の濱崎加代子さん(関西二期会)とバリトン歌手の澤井宏仁さん(関西二期会)を迎え、新春にふさわしい華やかなミニステージを用意しました。ピアノは櫻井文恵さんです。みなさまぜひご参加ください。会費8,000円。申し込みは、倶楽部事務局へ。

1月17日に新年会 ~歌手のステージも~



濱崎加代子さん



澤井宏仁さん



櫻井文恵さん

てくてくハイキング



戦国時代の歴史の1頁を体感

5月17日に実施した安土城跡は、織田信長が築き、初めて本格的な天主閣を備えるなど、その後の城の標準となるものであり18名の参加がありました。

山城の安土城跡(197m)ときぬがさ山(433m)は、見た感じでは簡単に登れそうですが急登が多く結構きついコースです。大手門に着いて拝観料500円を払いました。城跡を見るのに拝観料とは変ですが、築城の際に城内に建立された摠見寺の拝観料となっていました。我々はこのお寺を見るのが目的ではありませんけど。

大手門からは段差の大きい急傾斜の直線の石段が続きます。標高差110mの急傾斜の丘にこの規模の城を3年で築いているのは驚きます。戦国時代の築城の厳しさは石仏が石段の踏み石に使われているのも分ります。汗をかきながら446段の石段を上ると天主台着。琵琶湖と湖東平野が一望できるよい眺めです。信長がこの要衝の地を選んだ理由が分る気がします。

天主台は眺望は良いのですが狭いために全員で弁当を食べる訳にはいかず、その下の本丸跡の木陰で昼食にしました。この立派な城も完成3年後の本能寺の変で信長が自刃すると天主閣が炎上し、さらにその3年後に廢城に

なっています。6年の寿命とは惜しいことです。

きぬがさ山は傾斜が緩いので登山道は直登しており結構きつい登りです。樹林がないため快晴の日光を浴びて暑い！その代わり眺望は抜群！最後の急傾斜の階段を頑張ると頂上着。

これからは楽な道です。この山にあった観音寺城跡は希望者のみピストンしました。山城にしてはだっ広い曲輪(くるわ・城内の平地)で、そのために下見の時は桑実寺(くわのみでら)に下る道を間違えました。桑実寺は唐から持ち帰った桑の実を栽培して、日本で最初に養蚕を始めた土地だそうです。

観音正寺で全員集合して急な石段を下りました。観音正寺は西国三十三所第32番札所で、お年寄りもフーフー言いながらこの急な石段を登っています。ご苦労さまです。

安土駅まで約1時間の歩行です。平地に出ると田植えの最中で田圃には水が張られて涼しげな風景でした。本日の歩行は1万5900歩、約11kmでした。

京都に出て新都ホテル屋上の2日前に開店したばかりのビアガーデンで懇親会を行いました。ハイキングと飲み放題なので、鱈腹飲んで食べて楽しんで今日のハイキングは終了しました。

時枝奉之(昭45年院理工研)





Wフォーラム部会の企画した「大人のための適正飲酒講座」が8月29日、グランフロント大阪にあるキリンビール大阪支社で開催され、18人が参加した。同社の五十嵐晃部長(平3年人間科学)のはかりいで実現。

今は缶ビールが主流で全体の73%を占めることや、日本では1人年間43ℓ飲んでいること、350ml缶の酒税はビールは77円、発泡酒で48円、第3のビールで28円であることなどを勉強。

さらに「飲めが飲むほど強くなるものではない、無理せず適量を楽しむ、おいしく飲むと健康にも良い」との講義にみなうなづいていた。

最後に、泡を浮き上がらせる上手なビールの注ぎ方を教わり、試飲で乾杯した。続いて別のレストランに移って講座の話を実践しながら杯を掲げて歓談した。

フジワラ・テニススクールへのお誘い

7月13日は朝から微妙な天気でしたが、インドアコートに向かつて出発しました。スタジアムから聞こえて来る高校野球大阪予選の歓声の中、シーサイドテニスガーデン舞洲で開催されるフジワラ・テニススクールに参加しました。私はこのスクールに一年余り出席させて頂いておりますが、以下に、スクールの魅力を紹介いたします。

います。

最近、礼儀正しくテニスコーチ経験のある20代のイケメン、早稲女(ワセジョ)の美女たちの参加があり、更に活気づいています。

③ 今年の4月には有志でイタリア料理とワインを味わいながら、テニス以外の交流の場も持ちました。今から次回の機会を心待ちにしています。

① 藤原コーチ及びアシスタント2名(美男達)から、ストローク、ボレー、ゲーム形式。更に初心者には手投げのボールを使って構え方、ラケットの振り方と、熱心に指導を受けます。

② 20代から60代までの幅広いメンバーと3時間の時間と空間を共有します。皆さん、文句なく良い人達ばかりで腕前に差はあるものの、勝負に拘らず和やかにゲームを楽しんで

この日は、いつもコートを予約して下さる豊島さんに冷やしたスライカの差し入れまでして頂き、感謝感激でした。同窓生の皆さま方とコートで、あるいはレストランでお会い致したく、ご参加をお待ちしております。

余頃文昭(昭50年政経)



大阪早稲田倶楽部



早稲田大学校友会大阪府支部